



令和3年度知識＊技術を地域につなげるプロジェクト 成果報告会開催される

令和3年度の「知識＊技術を地域につなげるプロジェクト」は、2月4日（金）一関工業高校電子科コンピューター室で開催されました。

当初は、いちのせき市民活動センター等で、地域の皆さんを招いて報告会を開催する予定でしたが、コロナ感染症の感染拡大に伴い各地域2名までの参加としました。来賓に岩手大学理工学部教授 高木浩一 様（本校地域プロジェクト・SDGs アドバイザー）、一関市 市長公室 政策企画課主任主事 熊谷尚孝 様のご出席をいただきました。（□○□）

本年度の実施地区は、萩荘地区、厳美地区、中里地区（新規）の3ヶ所で活動を行いました。電気科・電子科は萩荘地区で、小中学校での出前授業、サイエンスショー、萩荘 DE マルシェ等での実践発表、電子機械科は、中里地区児童館で開催したロボット製作と子供たちとの交流の出前授業、土木科は岩手宮城内陸地震の被災地である厳美地区を対象に、祭時大橋や震源地等の震災遺構データをデジタル化し、山谷分館に設置した山谷分館震災資料展示室の取り組みについて紹介しました。電気科電子科の出前授業では、準備から実践、アンケート評価まで行い、授業を改善しながら実践して来た取り組みに、アドバイザーからお褒めの言葉をいただきました。

また、ドローンを用いて震災地域のデータ収集を行なった土木科の取り組みは、厳美地区で発生した災害を後世に伝える取り組みとして評価され、今後の継続テーマも考えられる内容でありました。何れの取り組みも、パートナーシップを第一に「未来都市一関市」のSDGs を意識した内容として取り組む事ができたと思います。来年こそは多くの地域の皆さんの前で報告させていただきたいと思います。（○・～・○）

学校は、報告会を開催出来たことに感謝すると共に、これからも関係者の皆様のご理解とご協力を得ながら地域と学校の学びを実践していきたいと思ひます。

～ いま関工がおもしろい ～



岩手大学理工学部
教授 高木浩一 氏

